

シリーズ 元気です

125

緑の滴り落ちる空気を 全身に感じてください

水の恵みに満ちたまち

千代川の支流である赤波川の中流には、花崗岩が削られてできた円形のくぼみ「おう穴」が、およそ1・2段に渡り広がっています。穴の形はなんと30種類以上。その形はより「鬼の井戸場」、「鬼の風呂釜」など、地域に伝わる昔話にちなんだ名前も付けられています。

おう穴群は、その文化的価値も注目されており、約20年に渡り文化財指定実現に向けた取り組みが続けられていま

大村地区まちづくり協議会



事務局長
中村 正博 さん
Masahiro Nakamura

会長
谷村 萬吉 さん
Mankichi Tanimura

す。現在は、鳥取市の文化財指定候補。あと一歩で実現するところまでできています。

赤波川の上流では、大村地区の水力発電所へ水を送っているため、川の水量は少なく水温も高め。夏場には保育園の園児や親子連れが水遊びに訪れます。「おう穴群は天然のプール」と、大村地区まちづくり協議会会長の谷村さんは言います。

また、おう穴群の終着点には「延命水」と呼ばれる湧水が洗足山から流れており、古くは登下校の休憩場所として

親しまれ、今では、県外からペットボトルやポリタンクに汲んでいく人が後を絶ちません。病氣療養のためにこの水を求める人もいるそうです。

まさに、夏に涼を楽しむ隠れたスポットとしての注目が高まりつつありますが、それだけではないのです。秋にはウォーキングを楽しむ人たちが訪れ、また、写真や絵画の愛好家は、春夏秋冬異なる顔を見せる景観を収めるために足を運びます。

事務局長の中村さんは地区公民館の館長でもありま



おう穴群の見通しをよくするために木の伐採を実施

すが、地区の外に出た時「大村はおう穴のあるところですね」と言われることもしばしば。広く知ってもらえることに嬉しさを実感しています。

恵みを活かすために

大村地区まちづくり協議会は、赤波川渓谷おう穴群の環境整備や情報発信に力を入れています。この地域にとっておう穴群は自然からの恵み。中村さんは「流しびなが文化遺産なのに対し、おう穴は自然遺産」と形容しています。今年3月に「おう穴の郷大

《8月の番組ガイド》

.....鳥取市行政番組.....

『こんにちは鳥取市です』【放送】毎週金・土

鳥取市の施策や事業の取り組み状況、各種行事、お知らせを紹介します。

【話題・特集】

- ▷ 48回鳥取しゃんしゃん祭
- ▷ 国際まんが博
- ▷ 貝がら節祭り
- ▷ いんしゅう鹿野盆踊り



昨年の「鳥取しゃんしゃん祭」

静止画文字情報

『鳥取市からのお知らせ』【放送】毎週水・木・金・土



イベント・募集・相談などの各種お知らせを、文字画面と音声でご案内します。

特別番組

鳥取市議会『鳥取市庁舎耐震改修等に関する調査特別委員会』

特別委員会開催日の午後7時から中継録画で放送します。また土曜日午後2時から再放送します。

いなばびよんびよんネット

.....自主制作番組.....

農業番組『いなばアグリタイム』【放送】毎週水・木

ブドウや早生梨、夏野菜などの収穫や、特産の砂丘らっきょうの植え付けが最盛期を迎えた話題を紹介します。

地域情報番組『とっとりウオーキング』【放送】毎週日・月

市内各地の旧暦の七夕やお盆の行事、子どもたちの夏休みの様子などを紹介します。

生活情報番組『びよんびよんワイド』【放送】毎週火

子育てや健康をテーマに、暮らしに役立つ情報や話題をお届けします。

手話番組『手話でコミュニケーション』【放送】毎週日・月

ニュースや話題、行事、お知らせを手話や字幕で紹介します。

※番組の放送時間や内容はホームページまたはデジタル放送の電子番組表(EPG)をご覧ください

情報をお寄せください！

いなばびよんびよんネット TEL 0857-22-6111

※放送予定は予告なく変更することがあります。

番組の放送時間は、ホームページでも紹介しています。

<http://www.inabapyonpyon.net>



赤波川おう穴の中で遊ぶ子どもたち

「おうちで、夏休み期間中に「おう穴まつり」を開催しています。魚のつかみ取りや赤波川の沢登り、花崗岩の上を滑り下りるウォータースライダーなど、楽しみ満載。渓谷ににぎやかな声が響き渡ります。まつりの実施前

には、地区住民の有志が集まった愛護会が、赤波川周辺の草刈りやごみ拾いを実施。毎年60〜70人の住民が参加しており、谷村さんは「大村のパワー、一体感のようなものを感じます」と、嬉しそうに話しています。

おう穴群の認知度が高まる中、地元住民を交えたワークシヨップを行い、おう穴以外の地域の魅力アップに取り組んでいます。1つの例が、地元の湧水「延命水」と、地元の米を利用した甘酒づくり。冬の間、流しびなの館で提供

個々の感性で味わう

谷村さんは、疲れた時に渓谷の隠れ家に行き仮眠をとります。「緑の滴り落ちる空気さわやかさに、蘇生される思いがします」と、自然の恩恵に感謝。中村さんは「いのちの洗濯をされるよう」と表現しています。「それぞれの人がそれぞれの立場で体感してもらいたい」と、お二人はまだ訪れていない人たちにメッセージを送りました。

8月5日(日)、今年もおう穴まつりを実施。ウォークラリーやバーベキューのほか、大村をよく知ってもらうために発電所への見学ツアーも行う予定です。長い年月を経て形成され、地元の住民の愛情により熟成された大自然の空気を味わってください。